

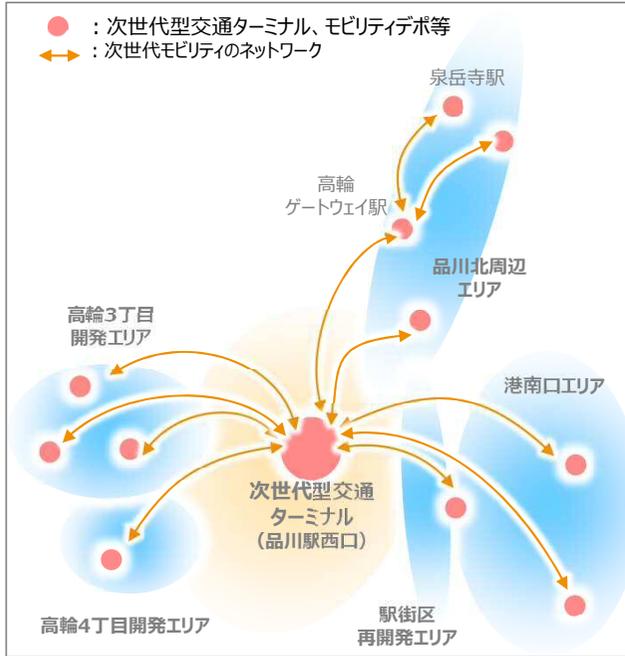
次世代型交通ターミナル PPP/PFIの進め方

1. 次世代モビリティネットワークの展開イメージ

- ・次世代型交通ターミナル開業当初は、品川駅西口駅前広場（国道上空デッキ）を中心に周辺開発地域（高輪3・4丁目、高輪ゲートウェイ駅）への移動を次世代モビリティで支援
- ・品川駅西口をモデルとしたモビリティネットワークの形成と拠点づくりが地域の再開発や街づくりの進行とともに進み、自動運転技術の進歩等によりMaaS等の利用が拡大

◆第1世代

- ・次世代型交通ターミナル開業
- ・品川駅西口駅前広場と周辺地域をネットワーク化



◆第2世代 (自動運転のネットワークをモデル的に運用)

- ・賑わい広場が完成
- ・周辺開発等が完成

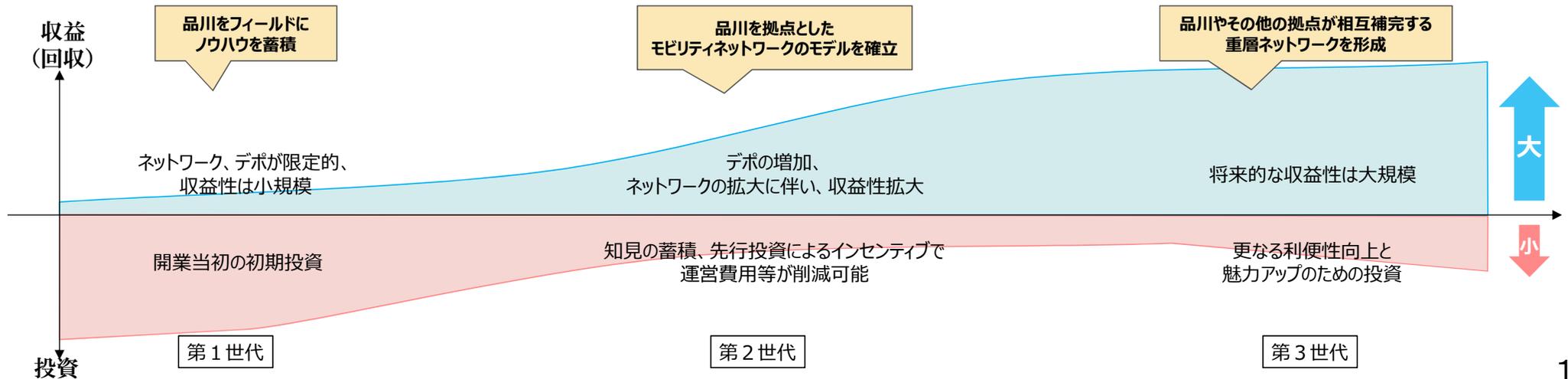


◆第3世代

- ・自動運転のモビリティネットワーク形成
- ・MaaSが定着



<次世代型交通ターミナル整備とネットワーク形成に係るビジネスモデルのイメージ>



2. 次世代モビリティネットワークにおける拠点のイメージ

- ・品川駅西口を皮切りに、次世代モビリティの拠点及びネットワークの形成を官民連携で展開
- ・拠点（ターミナル、デポ等）の構成を、官民が協力して整備・運営／維持管理
- ・モビリティネットワークの形成に向け官民協働の体制構築が必要
- ・各地の拠点間の需要バランスは、AI技術や自動運転技術により常に過不足のない台数が自動供給

◆次世代モビリティ拠点（ターミナル、デポ等）の設置場所イメージ



超小型モビリティによるカーシェアリングの実証実験
 国道1号大手町駅ステーション 写真：パーク24㈱提供

◆拠点（ターミナル、デポ等）の整備・運営／維持管理の考え方

<官民による役割分担のイメージ>

民設民営 (ex. 民間駐車場、再開発ビル等)
 ・運営ノウハウ、最新の技術の導入、
 社会情勢へのスピード感ある対応

公設民営 (ex. 駅周辺のターミナル、役所/複合施設等)
 公共：制度の整備、事業スキーム整備
 民間：運営ノウハウ、最新の技術の導入、
 社会情勢へのスピード感ある対応

公設公営 (ex. 道路空間内等)
 ・公共による整備／運営・維持管理
 ※将来、公共空間において、民間が整備／運営することも想定

3. PPP/PFIの役割分担のイメージ

- ・品川駅西口の次世代型交通ターミナルの具体化及び整備にあたっては、最先端技術の導入と運営の最適化、コストの低減を図るため、PPP/PFI方式等により事業を実施
- ・PPP/PFIで実施する場合の官民の役割分担を検討し、民間事業者へのヒアリングにより、今後の技術動向、事業への参画意向や妥当性を確認

◆交通広場、次世代型交通ターミナルにおける役割分担

<一般的な駅前広場整備の場合>

事業内容	役割分担
駅前広場の整備	公共
待合空間の整備、運営 ・バス停 ・タクシー乗り場 ・トイレ ・待合空間 等	公共
公共交通の運用 ・車両の手配 ・予約の受付、配車の手配 ・バスロケシステム 等	交通事業者 ・バス会社 ・タクシー会社 等
利用者利便施設の整備、運営 ・自動販売機 ・キヨスク 等	

<品川駅西口の次世代型交通ターミナル>

事業内容	役割分担
国道上空デッキの躯体整備	公共
次世代型交通ターミナルの躯体整備	公共 民間事業者
次世代モビリティの運用 ・次世代モビリティの導入 ・予約システムの運用 ・自動運転システムの管理 等	民間事業者 ・車両整備 ・システム開発 ・情報通信 等
次世代型交通ターミナルの運営 ・安全管理 ・トイレ ・待合空間 ・情報提供 等	民間事業者 ・施設運営 ・施設管理 等
利用者利便施設の整備、運営 ・ラウンジ ・ギャラリー 等	

◆PPP/PFIの手続きにおいて民間事業者へのヒアリング（案）

<p><参画意欲></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代モビリティの整備／運用に対する知見、参画意欲 ・次世代型交通ターミナルの整備／運営／維持管理に対する知見、参画意欲 ・その他利便施設等の整備／運営に対する知見、参画意欲 <p><妥当性に関する意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の妥当性（内容、規模、品質 等） ・事業期間の妥当性（20年 or 30年 or 50年 等） ・事業方式に対する意見（BT0方式？BOT方式？） ・事業類型に対する意見（サービス購入型？独立採算型？混合型？） ・リスク分担に対する意見 	<p>民間事業者の参画意向、事業内容の妥当性等を確認</p>
---	--------------------------------

4. 次世代型交通ターミナルの事業に際し想定されるプレイヤー

- ・ PPP/PFI 事業に多岐にわたる業務分野のプレイヤーがコンソーシアムを組成して、参画することを想定
- ・ 将来、広域的なモビリティのネットワークを形成し、その仕組みを維持・運営するための技術の進展と多面的・広域的な官民連携の場が必要

◆次世代型交通ターミナルの事業で想定されるプレイヤー

複数企業により、コンソーシアムが組成されることを想定

①自動運転の車両やシステムを開発し、普及させたい者

- ・ 自動車メーカー
- ・ システム、ソフトウェア開発会社 等

②自動運転の仕組みを社会に定着させ、マネジメントをビジネスにしたい者

- ・ カーシェア
- ・ タクシー事業者 等

③鉄道施設と一体でサービスを提供し、マネジメントをビジネスにしたい者

- ・ 鉄道事業者
- ・ 鉄道施設によるサービス提供者 等

④周辺施設の運営・維持管理と一体となったサービスを提供し、テナント運営を担いたい者

- ・ 不動産運用会社
- ・ ビル管理会社
- ・ ホテル運営会社 等

⑤次世代型交通ターミナルでサービス事業を行いたい者

- ・ コンビニ
- ・ ラウンジ運営 等

⑥次世代型交通ターミナルの施設整備を担いたい者

- ・ 建設会社 等

⋮

PPP/PFI事業として次世代型交通ターミナルを整備

◆将来の広域的なネットワーク形成に向けた課題

◆ネットワークを維持・運営する仕組みの構築に向け調整

<次世代モビリティ>

- ・ 次世代モビリティの規格
- ・ 公道の走行ルール
- ・ 道路交通法等における位置づけ
- ・ 走行可能エリアの設定 等

<拠点間の連携>

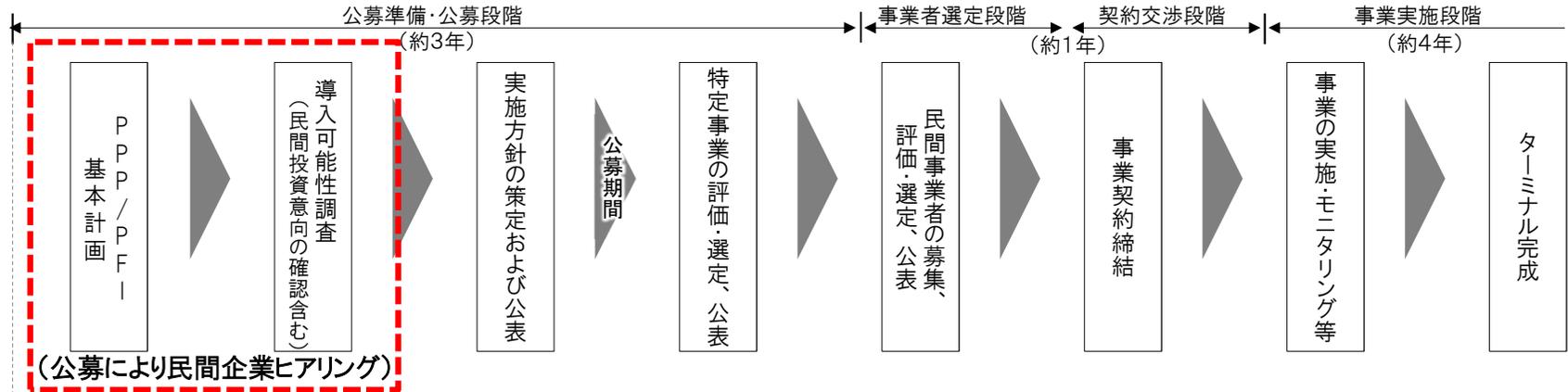
- ・ ターミナル、デポ等の配置の考え方
- ・ 予約システム、配車システムの共通化 等

広域的な次世代モビリティのネットワーク形成に向け、
官民の連携・協働の場が必要

5. 事業の進め方

- ・ PPP/PFI 事業として、次世代型交通ターミナルの整備を進めるにあたり、有識者及び各民間事業者等から広く意見を集めながらスキームを決定
- ・ 民間企業ヒアリングを実施し、事業参画の意向や条件、課題等を早期に把握し、調整

◆PPP/PFI事業のスケジュールの考え方



手続き着手より

年度	平成30年度末	1年目	2年目	3年目	4年目	概ね4年
次世代型交通ターミナルに関する検討事項	品川駅西口駅前広場の事業計画(公表)	<ul style="list-style-type: none"> ●各種検討・設計 (民間企業ヒアリングを踏まえて) <ul style="list-style-type: none"> ・施設内の具体的な必要機能、施設構成 ・建屋空間内のゾーニング、動線 ・概略事業費 (LCCの算出を含む) ・基本計画図 ・運営方針 ・事業スキーム (期間、業務範囲、リスク分担等) ・フィージビリティスタディ ・民間投資意向調査 (マーケットサウンディング) ・事業手法評価 (VFM評価含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ●実施方針の策定・公表 ●特定事業の選定・公表 ●事業者の募集・選定 	公募手続き	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者提案の審査 ●業者選定審査委員会の運営 ●契約書の作成と締結交渉 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の実施 ●事業モニタリング ・次世代型交通ターミナルの設計・システム開発等 ・次世代型交通ターミナルの建屋工事

(公募により民間企業ヒアリング)

<ヒアリング先の候補>

- ①自動運転の車両やシステムを開発し、普及させたい者 (自動車メーカー、システム・ソフトウェア開発会社等)
- ②自動運転の仕組みを社会に定着させ、マネジメントをビジネスにしたい者 (カーシェア、タクシー事業者等)
- ③鉄道施設と一体でサービスを提供し、マネジメントをビジネスにしたい者 (鉄道事業者、鉄道施設によるサービス提供者等)
- ④周辺施設の運営・維持管理と一体となったサービスを提供し、テナント運営を担いたい者 (不動産運用会社、ビル管理会社、ホテル運営会社等)
- ⑤次世代型交通ターミナルでサービス事業を行いたい者 (コンビニ、ラウンジ運営等)
- ⑥次世代型交通ターミナルの施設整備を担いたい者 (建設会社等)

・・・等

<特定事業のイメージ>

- ・次世代型交通ターミナルの躯体整備
- ・次世代モビリティの運用
- ・次世代型交通ターミナルの運営
- ・利用者利便施設の整備、運営 等